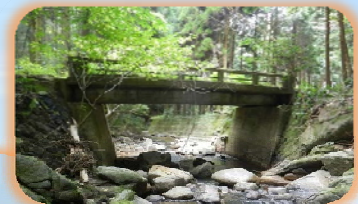




橋梁長寿命化修繕計画

KAWASAKI TOWN'S
PLAN OF BRIDGE LIFE SPAN EXTENSION BY MAINTENANCE



平成25年3月

川崎町役場 建設課



1. 長寿命化修繕計画の目的	・・・・・・・・ 1ページ
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	・・・・・・・・ 2ページ
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	・・・・・・・・ 3ページ
4. 橋梁の長寿命化に係る費用の縮減に関する基本的な方針	・・・・・・・・ 4ページ
5. 橋梁長寿命化修繕計画の流れ	・・・・・・・・ 5ページ
6. 健全度の考え方	・・・・・・・・ 6ページ
7. 修繕時期の考え方	・・・・・・・・ 7ページ
8. 優先順位の考え方	・・・・・・・・ 8ページ
9. 橋梁の健全度評価一覧	・・・・・・・・ 9ページ
10. 長寿命化修繕計画による効果	・・・・・・・・ 15ページ
11. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	・・・・・・・・ 16ページ

1. 長寿命化修繕計画の目的

①背景

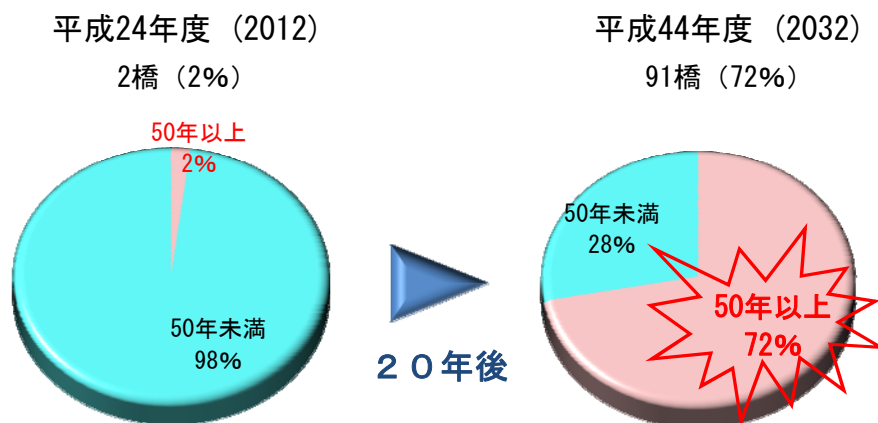
平成24年度現在、川崎町が管理する橋梁は、計126橋あります。

また、このうち建設後50年を経過する橋梁は、全体の2%を占めており、20年後の平成44年には72%に増加すると予測されます。

これらの橋梁が老朽化を迎える中、従来の事後保全型に偏った維持管理を継続すると、橋梁の修繕や架け替えに要する費用が急激に増大し、対応が困難になることが予想されます。

また、橋梁の老朽化を放置すると、安全で安心な道路利用を妨げる恐れが発生いたします。

今後は、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠です。



②目的

コスト縮減のためには、橋梁の延命化を図る、「予防保全的な維持管理」を主としつつ橋梁規模に応じた「事後保全的な維持管理」を組み合わせ、橋梁の修繕費用を低減する必要があります。

川崎町では、将来的な財政負担の軽減及び道路交通の安全性の確保を目的とし、橋梁長寿命化修繕計画を策定することとしました。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

◆対象橋梁

	一般国道	主要地方道	町道	合計
全管理橋梁数	0	0	126	126
うち計画の対象橋梁数	0	0	126	126
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うちH24年度計画策定橋梁数	0	0	126	126
○長寿命化修繕計画の対象 * 川崎町が管理する全ての橋梁				

－ 酒屋渡橋 －



－ 鮎返橋 －



－ 柏木橋 －



－ 前川原橋 －



3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1) 橋梁の管理区分

◆主要橋梁（62橋）

- ・橋長15m以上の橋梁
- ・主要路線上の橋梁
- ・上下部一体構造の橋梁（ボックスカルバート構造を含む）

◆その他の橋梁（64橋）

- ・主要橋梁を除く橋梁（規模の小さなRC床版橋および桁橋）

(2) 橋梁点検の徹底

- ・橋梁点検は、橋梁の架設年度や立地条件等を十分に考慮し、定期点検、日常点検、臨時点検を組み合わせて実施します。
 - 【定期点検】：10年に1回を目安として実施
 - 【日常点検】：日常的なパトロールにより実施
 - 【臨時点検】：集中豪雨や大規模地震による自然災害の直後に実施
- ・橋梁点検は原則として常に新しい指針を適用します。
「定期点検要領(案)【橋梁編】H21.10 福岡県 県土整備部 道路維持課」
- ・主要橋梁は、定期点検および町職員による日常点検を基本とし、劣化や損傷が顕在化する前に機能を回復させる予防保全的な維持管理を行います。
- ・その他の橋梁は、町職員による日常点検を基本とし、安全性を十分に確保しつつ、原則として事後保全的な維持管理を行います。

(3) 日常点検の徹底

- ・日常点検は可能な限り桁下からも行い、塗装の劣化やコンクリートのひび割れ等、新たな「劣化や損傷」の「箇所、内容、進展」を早期に把握します。
- ・橋面排水口の目詰まりや橋座の土砂、鳥の糞の堆積等を発見した場合は、速やかに清掃します。

(4) 点検履歴および補修補強履歴の記録

- ・橋梁点検で得られる損傷等の情報は、劣化要因の推定や劣化進行の予測を行いつつ点検調書に記入し、記録として確実に残します。この際、「損傷なし」と「未調査」を混同することが無いよう記録します。
- ・補修、補強、耐震補強等の修繕工事を行う際は、併せて近接目視による点検も行い、修繕内容、修繕時期、工法の選定方法、工事記録等を記録として確実に残します。

(5) 技術者（町職員）の育成

- ・町職員の技術力向上を図るために、橋梁の劣化損傷特性、点検技術手法、対策工法の選定に関する「技術講習会」に適宜参加します。
- ・橋梁点検、工事の設計、工事の管理を通じ、ベテラン技術者から若手技術者へ技術の伝承を図ります。

4. 橋梁の長寿命化に係る費用の縮減に関する基本的な方針

◆橋梁長寿命化修繕計画に沿った計画的かつ**予防保全的な維持管理**を徹底することにより、全体的な事業費の大規模化および高コスト化を回避し、長期的な**ライフサイクルコストの縮減**を図ります。

予防保全的

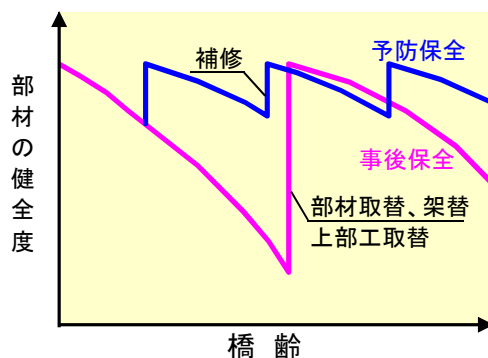
損傷が小さなうちに予防的な対策を行うため、橋梁の寿命が長くなり修繕費用を最小限に抑えられます。

事後保全的

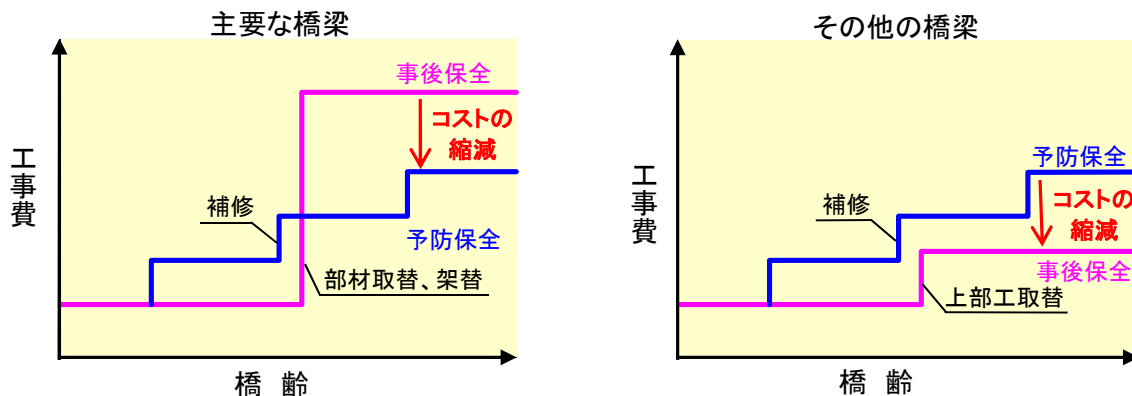
損傷が大きくなってから対策を行うため、工事規模が大きく多大な費用が発生します。

なお、規模の小さなRC床板橋のような「その他の橋梁」は、上部工の取替費が補修費よりも安価なため、「事後保全的」な維持管理の手法で対応します。

【橋梁長寿命化修繕計画のイメージ図】



【コスト削減のイメージ】

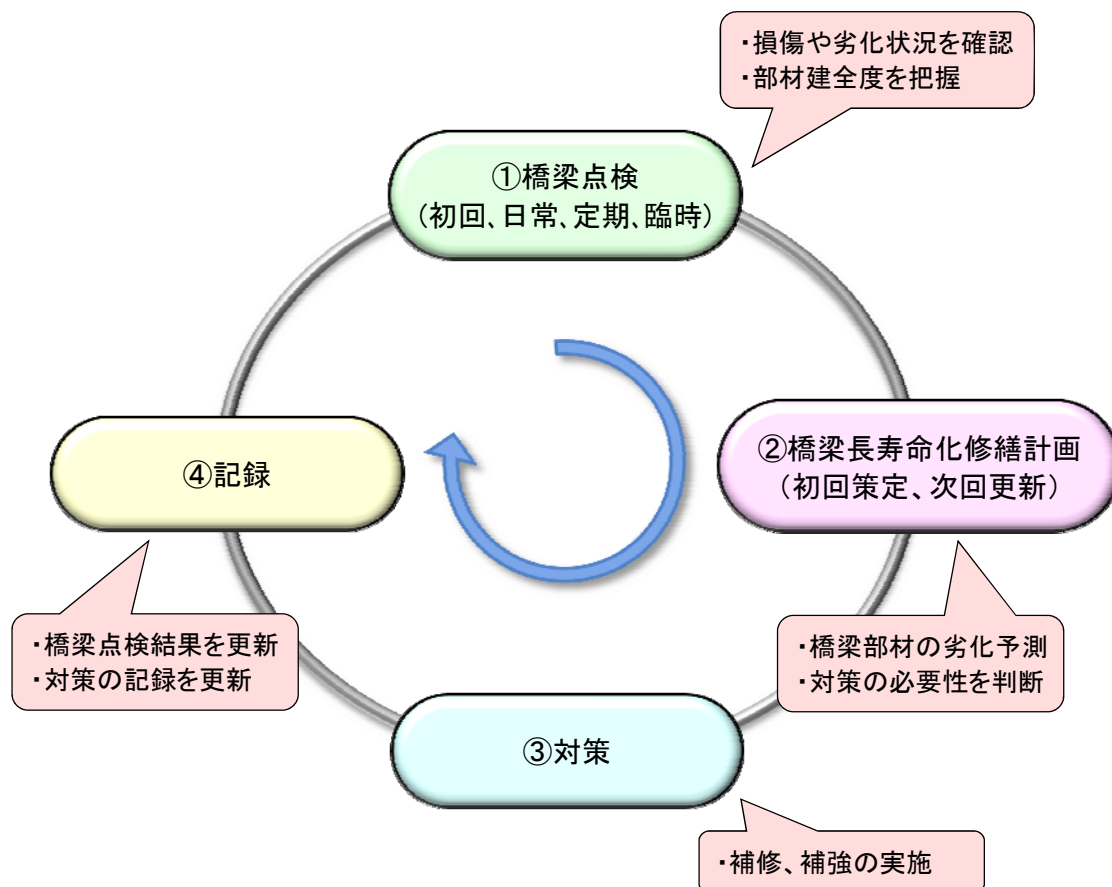


5. 橋梁長寿命化修繕計画の流れ

- ◆橋梁長寿命化修繕計画は、橋梁部材の損傷や劣化状況に合った適切な補修補強等の修繕対策を実施できるよう、定期的に橋梁を点検し、実情にあった修繕計画の更新を行います。

- | |
|--|
| ①橋梁長寿命化修繕計画に合わせて橋梁点検を行います。
橋梁の損傷や劣化状況を確認し、部材の健全度を把握します。 |
| ②橋梁点検結果に基づき、橋梁部材の劣化予測を行いつつ対策の必要性を判断します。
判定結果を踏まえ、橋梁長寿命化修繕計画を策定・更新します。 |
| ③橋梁長寿命化修繕計画に合わせて補修や補強などの対策工事を
実施します。 |
| ④橋梁点検結果、補修・補強などの対策の記録を更新します。 |

【橋梁長寿命化修繕計画のサイクル】



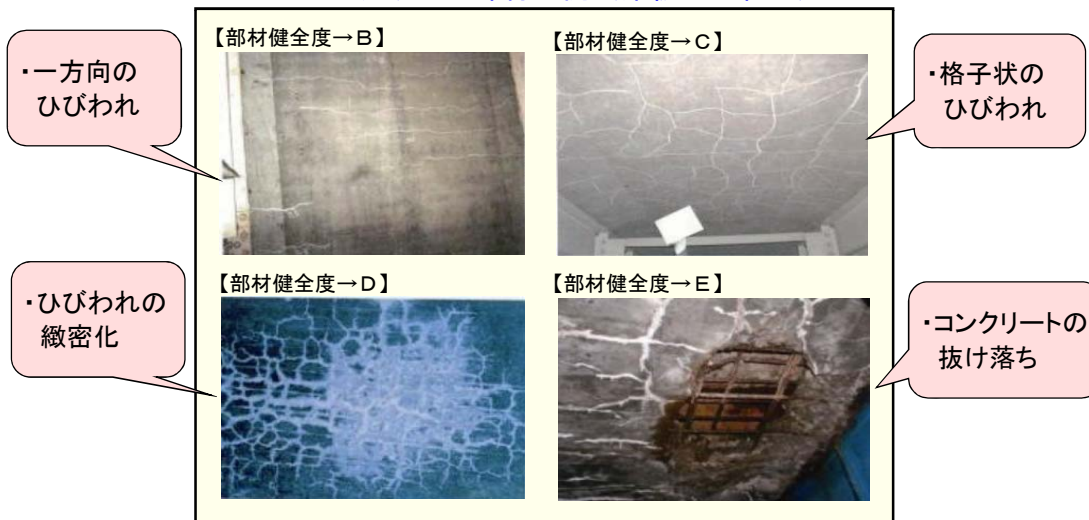
6. 健全度の考え方

◆橋梁の長寿命化修繕計画では、構成する部材の損傷や劣化の程度から「部材毎の健全度」を総合的に分析します。

●鋼部材の例（塗装劣化・鋼材腐食）



●コンクリート部材の例（床板ひびわれ）



●その他の着目部位

亀裂、鉄筋露出、路面の凹凸、支承の機能障害、下部工の変状など

A : 対策不要	B : 経過観察	C : 必要に応じて補修	D : 早急に補修	E : 緊急対応
----------	----------	--------------	-----------	----------

7. 修繕時期の考え方

- ◆橋梁部材の修繕時期は、「**予防保全的な維持管理**」と「**事後保全的な維持管理**」と異なる管理レベルを設定し、将来の劣化予測に基づく健全度（A～E）を考慮のうえ予測します。

【管理レベルの考え方】

予防保全的な維持管理

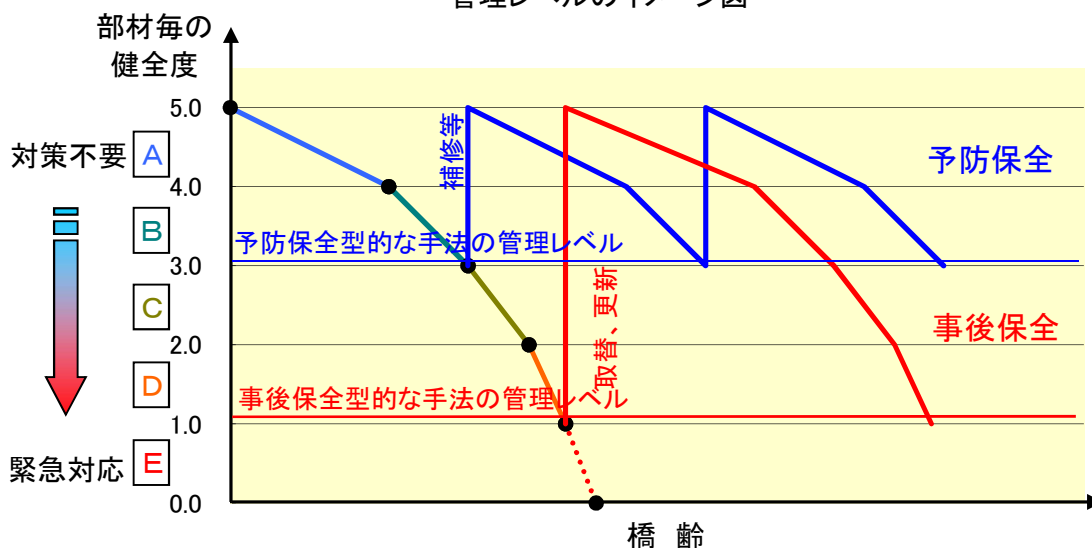
- ・修繕時期を示す管理レベルは、損傷が小さいうちに早めの修繕を行うため、高く設定します。
- ・例えば、鉄筋コンクリート部材はBランクのうちに、鋼部材はCランクのうちに修繕するよう設定します。
- ・Bランクはひび割れ発生、Cランクは塗膜の劣化にともなう発錆の状態を示します。

事後保全的な維持管理

- ・修繕時期を示す管理レベルは、損傷が大きくなってから修繕を行うため、Dランクのうちに取替や更新を行うよう設定します。
- ・Dランクは部材の機能が失われる前の状態を示します。

予防保全型の維持管理では、修繕を実施することで原則として各部材の健全度をAランク（無損傷状態）まで回復させ、橋梁は恒久的なものと考えます。

管理レベルのイメージ図



- *) 予防保全型はBランク末期で補修する場合の例を示します。
- *) 事後保全型は架替えの可能性もあります。

8. 優先順位の考え方

異なる橋梁で修繕時期が重なる場合は、「部材毎の健全度」に「部材毎の重要度」を乗じて算出した「橋梁の評価点」で「修繕の優先順位」を決定します。

「橋梁の評価点」が大きいほど、修繕の優先順位は上位になります。

【健全度毎の基本点】

健全度	基本点
A	0
B	10
C	20
D	40
E	80

【部材毎の重要度】

部材	重要度
桁	1.0
床版	1.0
下部工	0.3
支承	0.3

【評価点の算出方法】

	健全度の基本点		重要度	=	評価点
桁	(0~80)	×	1.0	=	0~80
床版	(0~80)	×	1.0	=	0~80
下部工	(0~80)	×	0.3	=	0~24
支承	(0~80)	×	0.3	=	0~24
評価点の合計 =					0~204
(評価点:大 → 優先順位:上位)					

例えば、以下のように異なる橋梁で**同時期に同じCランクの部材**が存在すると、桁や床版の健全度が低い**橋梁②**を**優先的**に修繕します。

【優先順位の設定例】

橋梁部材	重要度	橋梁①			橋梁②		
		健全度	評価点	評価点計	健全度	評価点	評価点計
桁	1.0	B(10)	10	39	C(20)	20	46
床版	1.0	C(20)	20		C(20)	20	
下部工	0.3	C(20)	6		B(10)	3	
支承	0.3	B(10)	3		B(10)	3	

※1 評価点＝部材の健全度×重要度

※2 下部工がDやEランクの場合は、評価点計が小さくても優先的に修繕します。

9. 橋梁の健全度評価一覧

【1/6】

No	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	計画 策定 年次	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2014年度～2023年度までに 実施予定の主な対策内容			
								部位	損傷種類				
1	中村橋	34	7.0	1993	21	H24	A						
2	冥加塚橋	20	5.0	1983	31	H24	B	上部工	ひびわれ				
3	宮の前橋	40	5.0	1977	37	H24	A						
4	前川原橋	31	7.0	1995	19	H24	A	下部工	ひびわれ				
5	新雁喰橋	21	7.0	1994	20	H24	A						
6	真崎2号橋	41	7.0	1998	16	H24	A	下部工	ひびわれ				
7	坪池橋	25	8.5	1997	17	H24	A						
8	住吉橋	27	6.5	1987	27	H24	A						
9	鮎返橋	27	4.0	1972	42	H24	B	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
10	真崎橋	30	5.5	1927	87	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 腐食	上部修復	上部塗替	下部修復	支承取替
11	柏木橋	29	5.0	1971	43	H24	E	上、下部工	鉄筋露出 洗掘	下部修復	舗装打換	伸縮取替	
12	馬ヶ鼻橋	15	4.5	1976	38	H24	C	上部工	腐食	上部塗替	支承取替	舗装打換	伸縮取替
13	神乃前橋	18	6.0	1987	27	H24	A						
14	2号橋	25	4.0	1971	43	H24	B	上、下部工	ひびわれ				
15	新丸山橋	17	6.6	1991	23	H24	A						
16	弓折陸橋	17	6.1	1988	26	H24	B	下部工	欠損				
17	西田原橋	43	6.0	1982	32	H24	A						
18	第2馬小淵橋	28	4.0	1988	26	H24	A						
19	前牟田橋	30	6.0	1982	32	H24	A	下部工	ひびわれ				
20	公門橋	17	4.0	2003	11	H24	A						
21	2066-1号橋 轡井手線1号橋	20	4.0	1979	35	H24	A	下部工	ひびわれ				

判定区分の凡例

A: 対策不要	B: 経過観察	C: 必要に応じ補修する	D: 早期に補修する	E: 緊急対応
---------	---------	--------------	------------	---------

9. 橋梁の健全度評価一覧

【2/6】

No	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	計画 策定 年次	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2014年度～2023年度までに 実施予定の主な対策内容			
								部位	損傷種類				
22	酒屋渡橋	25	2.5	2000	14	H24	A						
23	上真崎橋	32	6.0	1993	21	H24	A	上、下部工	ひびわれ				
24	川崎大橋	222	7.0	2002	12	H24	C	下部工	ひびわれ				
25	馬小淵上橋	8	6.0	1993	21	H24	A	下部工	ひびわれ				
26	藤枝橋	9	6.1	1991	23	H24	A	下部工	ひびわれ				
27	1023-1橋	11	4.6	1991	23	H24	A	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
28	馬小淵橋	12	6.0	1997	17	H24	A	下部工	ひびわれ				
29	1054-1号橋	7	4.9	1981	33	H24	A	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
30	1063-1号橋	7	12.8	1981	33	H24	E	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
31	丸山橋	13	4.0	1962	52	H24	A	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
32	吉原橋	10	6.2	1981	33	H24	A	下部工	ひびわれ				
33	1092-1号橋	8	5.0	1981	33	H24	A	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
34	公園橋	8	8.0	1982	32	H24	A	下部工	ひびわれ				
35	米田橋	6	8.5	1984	30	H24	A	上、下部工	ひびわれ				
36	119-1号橋	8	3.7	1985	29	H24	C	上部工	腐食	上部塗替	支承取替	舗装打換	伸縮取替
37	吉原橋(2号)	8	5.5	1991	23	H24	A	下部工	ひびわれ				
38	新吉原橋	15	5.5	1990	24	H24	A						
39	1172-1号橋	7	5.2	1993	21	H24	A						
40	1172-2号橋	7	6.5	1993	21	H24	A	上部工	鉄筋露出				
41	樋口ノ前橋	6	14.3	1982	32	H24	A	下部工	ひびわれ				
42	下ノ丸橋	7	10.2	1982	32	H24	A	上、下部工	ひびわれ				

判定区分の凡例

A: 対策不要	B: 経過観察	C: 必要に応じ補修する	D: 早期に補修する	E: 緊急対応
---------	---------	--------------	------------	---------

9. 橋梁の健全度評価一覧

【3/6】

No	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	計画 策定 年次	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2014年度～2023年度までに 実施予定の主な対策内容			
								部位	損傷種類				
43	0001-1号橋	3	6.0	1981	33	H24	A	下部工	ひびわれ				
44	0001-2号橋	5	6.8	1981	33	H24	A	上部工	鉄筋露出				
45	0003-1号橋	2	5.7	1981	33	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
46	岩鼻橋	4	14.8	1981	33	H24	A	上部工	鉄筋露出				
47	0003-2号橋	2	5.2	1981	33	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 洗掘				
48	0003-3号橋	4	5.2	1981	33	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 石積移動	上部取替			
49	0008-1号橋	4	8.6	1981	33	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
50	共同橋	3	7.7	1981	33	H24	C	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出	頂版修復	下部修復		
51	0009-1号橋	3	9.3	1981	33	H24	B	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
52	吐合橋	3	6.0	1981	33	H24	B	上、下部工	ひびわれ				
53	0012-1号橋	3	6.5	1981	33	H24	A	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
54	小大山橋	4	38.1	1982	32	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
55	13-1号橋	4	6.2	1982	32	H24	B	上部工	鉄筋露出				
56	0014-1号橋	3	10.3	1981	33	H24	B	上、下部工	ひびわれ				
57	0014-3号橋	3	6.3	1981	33	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
58	宮ヶ坪橋	3	5.4	1981	33	H24	C	上、下部工	ひびわれ	頂版修復	下部修復		
59	松ノ木橋	3	5.0	1981	33	H24	D	上、下部工	ひびわれ	上部取替	下部修復		
60	土田橋	3	6.1	1981	33	H24	A	下部工	ひびわれ				
61	中田原橋	4	14.1	1981	33	H24	B	上、下部工	ひびわれ				
62	0058-1号橋	3	3.8	1981	33	H24	B	上部工	鉄筋露出				
63	獅子場橋	2	11.0	1982	32	H24	B	上部工	鉄筋露出 ひびわれ				

判定区分の凡例

A: 対策不要	B: 経過観察	C: 必要に応じ補修する	D: 早期に補修する	E: 緊急対応
---------	---------	--------------	------------	---------

9. 橋梁の健全度評価一覧

【4/6】

No	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	計画 策定 年次	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2014年度～2023年度までに 実施予定の主な対策内容			
								部位	損傷種類				
64	永井村下橋	3	4.7	1982	32	H24	D	上部工	鉄筋露出	上部取替			
65	畑田橋	3	10.7	1981	33	H24	E	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
66	小松ヶ池橋	5	5.8	1982	32	H24	B	下部工	ひびわれ				
67	雀坂橋	3	5.1	1982	32	H24	B	上部工	鉄筋露出				
68	浦ノ谷橋	3	9.1	1982	32	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
69	0069-1号橋	2	3.5	1981	33	H24	A						
70	0070-1号橋	3	9.7	1982	32	H24	E	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
71	入口橋	2	5.9	1982	32	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
72	太田堰橋	2	6.4	1981	33	H24	C	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出	頂版修復	下部修復		
73	乱橋	5	5.1	1981	33	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
74	0073-1号橋	2	10.2	1981	33	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
75	0075-1号橋	5	9.6	1981	33	H24	A	上部工	鉄筋露出				
76	上真崎橋	3	10.1	1982	32	H24	C	上部工	鉄筋露出	上部取替			
77	0076-1号橋	4	5.6	1982	32	H24	A	下部工	鉄筋露出				
78	0076-2号橋	2	5.7	1982	32	H24	A	上部工	ひびわれ				
79	1006-1号橋	2	4.2	1981	33	H24	A						
80	池尻橋	3	2.3	1982	32	H24	D	上部工	鉄筋露出 ひびわれ				
81	1028-2号橋	4	4.0	1981	33	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
82	猪尻橋	3	5.5	1981	33	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 洗掘				
83	1034-1号橋	3	4.2	1981	33	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
84	1043-1号橋	3	8.8	1981	33	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			

判定区分の凡例

A: 対策不要	B: 経過観察	C: 必要に応じ補修する	D: 早期に補修する	E: 緊急対応
---------	---------	--------------	------------	---------

9. 橋梁の健全度評価一覧

【5/6】

No	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	計画 策定 年次	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2014年度～2023年度までに 実施予定の主な対策内容			
								部位	損傷種類				
85	1047-1号橋	2	4.0	1981	33	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
86	1047-2号橋	2	5.1	1981	33	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
87	1048-4号橋	2	5.7	1982	32	H24	A	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
88	1048-3号橋	4	4.2	1982	32	H24	C	上、下部工	鉄筋露出	上部取替			
89	1048-1号橋	6	4.1	1982	32	H24	A	上部工	ひびわれ 鉄筋露出				
90	号四郎橋	3	7.2	1981	33	H24	C	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出	頂版修復	下部修復		
91	八反田橋	3	4.5	1981	33	H24	D	上部工	鉄筋露出	上部取替			
92	奥谷橋	3	5.2	1981	33	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
93	1079-1号橋	3	8.3	1981	33	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
94	寺下2号橋	3	3.5	1981	33	H24	A	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
95	法印橋	4	5.3	1982	32	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
96	劇場橋	3	4.9	1981	33	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
97	1098-1号橋	2	4.6	1981	33	H24	B	下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
98	1131-1号橋	3	15.6	1989	25	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
99	2009-1号橋	2	6.1	1982	32	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
100	2022-1号橋	4	4.2	1982	32	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
101	2030-1号橋	3	3.6	1982	32	H24	A	下部工	ひびわれ				
102	2032-1号橋	3	9.9	1981	33	H24	B	上部工	ひびわれ				
103	2034-1号橋	3	9.0	1982	32	H24	D	上部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			
104	東川橋	3	5.1	1981	33	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
105	古屋敷橋	2	5.5	1981	33	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部取替			

判定区分の凡例

A: 対策不要	B: 経過観察	C: 必要に応じ補修する	D: 早期に補修する	E: 緊急対応
---------	---------	--------------	------------	---------

9. 橋梁の健全度評価一覧

【6/6】

No	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	計画 策定 年次	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2014年度～2023年度までに 実施予定の主な対策内容			
								部位	損傷種類				
106	2054-1号橋	2	4.7	1981	33	H24	A						
107	上ノ丸橋	5	4.8	1982	32	H24	C	上、下部工	鉄筋露出 洗掘				
108	2060-1号橋	3	4.6	1981	33	H24	B	上部工	鉄筋露出				
109	黒木下橋	6	15.7	1998	16	H24	C	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
110	黒木橋	9	7.0	1998	16	H24	A						
111	八熊橋	14	4.0	1983	31	H24	D	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ	下部修復			
112	馬場橋	14	4.0	1983	31	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
113	寺ノ谷橋	13	5.0	1977	37	H24	A	上部工	鉄筋露出				
114	水車橋	11	4.0	1981	33	H24	C	上部工	腐食 鉄筋露出	上部塗替	支承取替	舗装打換	伸縮取替
115	神橋	15	5.5	1979	35	H24	D	上、下部工	ひびわれ 鉄筋露出	下部修復			
116	2082-1号橋	8	4.1	1982	32	H24	D	上部工	ひびわれ 鉄筋露出	上部修復			
117	第2号橋	8	3.0	1965	49	H24	C	上部工	ひびわれ 鉄筋露出				
118	第3号橋	9	3.0	1965	49	H24	C	上部工	鉄筋露出				
119	第4号橋	6	3.0	1967	47	H24	B	上、下部工	鉄筋露出 ひびわれ				
120	2082-5号橋	9	6.7	1982	32	H24	B	上、下部工	鉄筋露出				
121	2085-1号橋 (安真木1号橋)	6	4.8	1991	23	H24	D	上、下部工	鉄筋露出	上部取替			
122	2085-2号橋 (筒丸橋)	10	6.3	2004	10	H24	A						
123	2098-1号橋	7	4.0	1981	33	H24	A	下部工	ひびわれ 鉄筋露出				
124	2106-1号橋	5	6.4	1985	29	H24	A						
125	2115-1号橋	7	4.1	1985	29	H24	B	上部工	路面凹凸				
126	新屋橋	9	5.5	2004	10	H24	A						

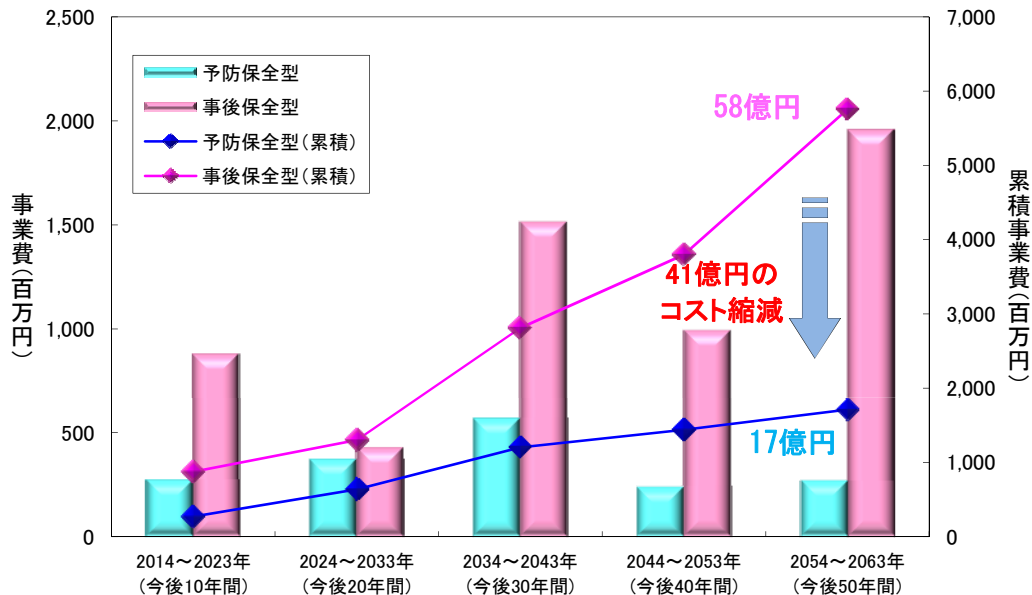
判定区分の凡例

A: 対策不要	B: 経過観察	C: 必要に応じ補修する	D: 早期に補修する	E: 緊急対応
---------	---------	--------------	------------	---------

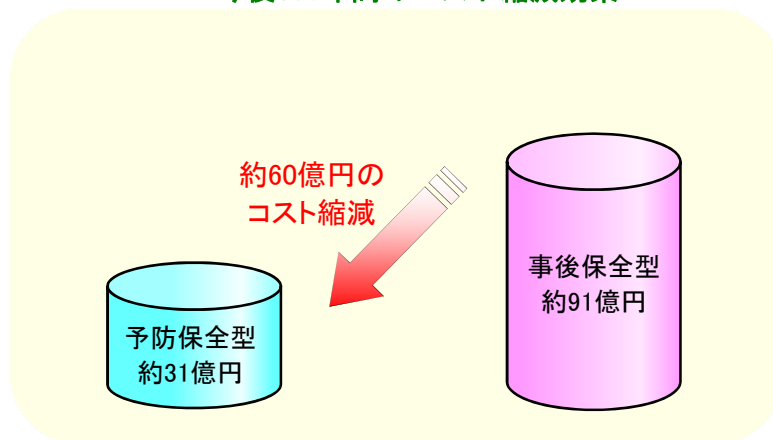
10. 長寿命化修繕計画による効果

- ◆橋梁長寿命化修繕計画を策定した橋梁は、計画的かつ予防的な修繕対策により、概ね**100年以上**を目標とした**長寿命化**が見込まれます。
- ◆修繕計画対象橋梁の計126橋について今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型は58億円、予防保全型は17億円となり、コストの**縮減効果は41億円**となります。
- ◆また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性や信頼性が確保されます。

今後50年間の事業費の推移



今後100年間のコスト縮減効果



- * 予防保全型→予防保全的な維持管理と事後保全的な維持管理の組み合わせ
- * 事後保全型→事後保全的な維持管理

1.1. 計画策定担当部署および意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者

- ◆橋梁長寿命化修繕計画の策定に際し、有識者の有益なご助言を得る場として、「学識経験者の意見聴取」の場を設けました。
- ◆橋梁修繕計画における課題や問題点などを挙げ、効果的な取組体制を築くための議論を行いました。

1) 計画策定担当部署

福岡県田川郡川崎町役場 建設課
電話番号 0947-72-3000

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

九州工業大学 大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 山口栄輝 教授



【意見聴取風景】

◆参考文献

- ① (財) 福岡県建設技術情報センター
 - ・市町村における橋梁長寿命化修繕計画策定のための橋梁点検の手引き (案) H22.10
 - ・市町村における橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き (案) H22.10
- ② 福岡県県土整備部道路維持課
 - ・定期点検要領 (案) 【橋梁編】 H21.10